

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	社会福祉法人ノテ福祉会 「なかま」 真栄
住所	札幌市清田区真栄434番地25
電話番号	011-375-7718

事業所番号	110900313
管理者名	今泉 秀明
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		65
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		5
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度	○	
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○	
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		3
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(IV) 支援力向上（※）		点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		0
参加した職員が1人以上参加している		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		2
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	150	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	54,160	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	9,175	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	184,702,000	円	利用者に支払った資金総額	39,936,000	円	収支	1,778,000	円
-----------------	-------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	81,112,699	円	利用者に支払った資金総額	49,296,748	円	収支	31,815,951	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前年度（5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	62,975,037	円	利用者に支払った資金総額	61,459,810	円	収支	1,515,227	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(IV) 支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。

※研修名
研修講師
実施日・受講者数 月 日 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名
実施日 月 日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 就労継続支援A型事業所なかま江別
実施日/参加者数 7月11日 2人
※他の事業所名
実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。

※商談会等名
主催者名
日時 月 日
内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 令和元年10月1日
人事評価制度の対象職員数 13名
うち昇給・昇格を行った者 0名
当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	「なかま」真栄	事業所番号	1109000313
住 所	札幌市清田区真栄434番地25	管理者名	今泉 秀明
電話番号	011-375-7718	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 日本医療大学月寒校舎・学生食堂・グリル日医大</p> <p>実施日程 令和5年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 日本医療大学月寒校舎内の共用エリア（トイレ・廊下など）の清掃 学生食堂・レストランでの配膳、調理、おにぎり・サンドイッチ製造</p>	<p><活動の様子></p> <p>朝の校舎入り口での窓ふきや登校学生や出勤者と元気に挨拶を交わす。</p> 
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 大学内清掃・学生食堂の接客等を通して挨拶や身だしなみなどのマナーを実践し社会性や清掃・調理技術の習得による自信や達成感を向上させ一般就労に向けた</p> <p>地域にとってのメリット 医療福祉系学生等が障がい者との共生を実感しノーマライゼーションへの担い手の育成の一助とする。</p> <p>対象者にとってのメリット 自分らの仕事（清掃）への感謝の言葉により仕事の意義や目的の理解が進み就労意欲の向上に繋げる。接客によるコミュニケーション能力の向上。</p>	 <p>大学職員、学生などいる中丁室にごみ取りやふき取りを行い校内をキレイに保っている。大学内共用トイレの清掃は数多く大変ですが皆さんに感謝されています。</p>
<p><成果></p> <p>実施した結果 大学の学生・職員らとの挨拶などを通し挨拶の声もはっきり出せるようになり、感謝の言葉もかけられ仕事への意欲が高まっている。コミュニケーションにより仕事への取組みが自主的となり責任感や自信の醸成につながっている。</p> <p>得られた成果 障がい者のもつ個々の能力を一般健常者と同じように就労することにより、障がい者のもつ能力が、広く知られることに繋がったこと。</p> <p>課題点 清掃は、利用者が自らの清掃技術や就労意識をより向上させること、調理においては、時間をかけて技術を習得することが課題。</p>	<p>令和5年7月から学生食堂やレストランでの配膳、おにぎり、サンドイッチ製造に取り組み、コミュニケーションに自信が出てきている利用者もいます。</p> 

連携先の企業等の意見または評価



<p><連携企業の評価></p> <p>作業中のあいさつなどはお客様から好評です。清掃業務の一部を担っていただき助かっております。</p> <p>お客様に必要とされる業務を弊社従業員とも連携、協力しつつ作業を行うこともできるようになりました。</p> <p>調理においては、人材確保が困難な中、利用者の働きは貴重。技術の向上に向けては、経験を積むしか方法がないため、調理師と連携を図りながら、一つずつ技術向上や確認作業を怠らないよう取り組んで頂きたいです。</p>			
連携先企業名	NPO法人シニアアクティブ月寒東事業所 株式会社ヘルスケアコープ	担当者名	柿原、川北

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	社会福祉法人ノテ福祉会 「なかま」真栄
住所	札幌市清田区真栄434番地25
電話番号	011-375-7718

事業所番号	110900313
管理者名	今泉 秀明
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>一般就労が可能な利用者に対し、就労分野シートを活用し、利用者の支援方法を把握するとともに個別に必要なカリキュラムを作成し一般就労に向けた知識・能力の向上の支援を行った。また、上記支援方法を基本に事業所職員で共有し、できるだけ一般就労が可能となるように定期的に必要な見直しを行うこととした。(就労分野シート作成2名)</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>将来的に一般就労を希望する利用者に対し、個々に必要な課題を把握し、一般就労に必要な知識・能力の向上を図るための必要な支援を行う。</p>	
<p><成果></p> <p>「就労継続支援A型事業所なかま真栄における利用者の一般就労に向けた取り組みについての報告書」を作成し、今後、具体的な支援を継続していく考え。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>令和5年度については、取り組みが遅れたため、社会福祉協議会やハローワーク、地域障がい者職業センター、障害者就業・生活支援センター等との連携を図ることができなかったが、令和6年度においては、利用者の知識・能力向上に向けた支援を関係機関や札幌市内の企業等の協力を得ながら進めていく考え。</p>	
連携先企業（担当者）	—

利用者からの意見・評価

<p>利用者から一般就労に向けての不安な点をヒアリングした結果、次のことがあげられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験していないため、全てが不安。 ・うまく働けるか、一人暮らしをしてみたいが、どのように生活するかがわからない。 ・困ったときにどこに相談すればいいかわからない。 <p>仕事の面では、一般就労も十分可能と考えられる利用者もいるが、生活する上での知識や経験が不足している方が多く、多くの点で支援を継続していくことにより、一般就労に向けた不安が解消される。利用者からもこのような機会は、今までなかったので将来に向けた希望となるとの意見が寄せられた。</p>
